

さ ざ ん か

第 122 号、2011 年 12 月

大激変の 2011 年も終わろうとしています。今年は東北の大震災、津波にすべてが尽きそうですが、北朝鮮の将軍の死も政治的には大激震になるのかもしれませんが。

鹿児島県でもひととき寒い伊佐地方に住んでいると、これとは比べ物にならないだろう東北の冬の厳しさに思いがいかざるを得ません。親を失くした子供達、子供を失くした親たち、孫をなくした老人達、友人、同僚、恋人、先輩、後輩と身近の人々を失った人々。それだけでも十分な打撃であるのに、更にそれに加えて、家を失い、財産を失い、職を失った人々の環境を想像するとき、慰めるべき言葉を失ってしまいます。

亡くなった人を甦らすことはできませんが、失った家、失った職場は回復可能なはずです。せめて、物質的なモノだけでも早く取り返せないものでしょうか。それで、失った魂の傷を癒せることは絶対にはないのですが、少なくとも自らの明日を生きる力の糧にはなりうると思うのです。ナチスの収容所を生き延びた人の話では、生き延びてこれたのは、運命的なものもあるにしても一番の理由は常に持ち続けた「希望」であったと言います。明日を知れない高齢の病人でも明日までは生きたいと願っています。希望があるから、今頑張れるのだと思うのです。東北の明日の希望はもう取り返しがつかないくらいの、だらだらした政府の対応で得られないままです。9 か月。暖かい部屋に居て、東北に同情や共感を覚える我々にとってはもう 9 か月かあ、という気がします、毎日辛い日々と送っている人々にはおそらく長い長い日々であったのではないのでしょうか。

震災時の日本人の冷静な対応、お互いを思いやる心、粘り強さは世界から評価されるどころです。なぜ、同じ日本人が選んだ政府なのに、こうまで現地に対して冷酷無比になれるのか、不思議でなりません。選んだ我々が間違っていたとしたら、もう一度選ぶ機会を与えて欲しいものだと思いますが、よく考えたら鳩山、管、と恥ずべき歴代の総理大臣を指名してきた民主党にとって代わってくれるべき勢力がないことに気づきます。何とも寂しい話です。大阪市長が日本国総理になる日は来るのでしょうか。

俳句

西屋敷喜美子

友去りて 駅のホームの 時雨かな

木の葉雨 あふるる涙 友の文

暮早し 背中の丸く なりにけり

生きよう 今日の一日を楽しく 別府政隆

少子高齢化が進む今日、児童数が少ないばかりか、地域の半数以上が高齢者である。今から半世紀前は活気のあった地域も今は影をひそめています。言葉の上でも、行動の上でも、昔でいう結いでの作業を繰り返しながら、お互い励ましあい助け合い絆を保ちながら生きて来た事を懐かしく思い出しています

しかし、現在はどうかだろうか。老いも若きも、友愛の精神が欠けているのではと思っています。これでは地域の活性化はありえない。7年前、91歳で他界した私の母親は一人身で、2人の子供を育ててきた労苦を顧みず、あの戦後のもの不足の時代を乗り越えて来た。母は強い。言葉で表せないものである。そんな母が何時も口にしていた「自分たちは、人様のお蔭で生かされているのですよ」と云う母の言葉が身に沁みています。

最近では人と話すこと、会う事の機会が少なくなってきた。自分さえよければ、それでも良しと云うのであろうか。これから先が不安でならない。1年経つのは早いもので、はや師走を迎えました。今年は特にうだるような気候の変化、そして師走を迎えた現在、朝夕は冷え込むものの、日中は暖かさを感じる。12月2日地区の高齢クラブの温泉行で、2台のバスに分乗して目的地へと走った。想像以上の素晴らしいホテルであった。気持ちよく従業員に迎えられ、休憩室で約1時間お茶を飲む人、また入浴する人も多くゆっくり宴会時まで待つことにした。

宴会場も広く、大変な御馳走にみんな驚いた。それぞれ自分の好きな場所へ移動し、全員が揃ったところで、会長挨拶が始まった。時間が経つにつれ唄と踊りで、賑やかな雰囲気ですらに盛り上がりを見せた。全員が満足そうであった。こんな情景を見た時、本当に夢でも見ているかのようでした。素晴らしい。いつまでもこの情景を忘れないで欲しい、そう願うことでした。誰とでも話し合える人であって欲しい。誰よりも愛される人であってほしい。

自分の手足の動く時、また、話せる時にこのような素晴らしい集いの場へ参加することです。そして一人でも多くの友人と出逢う事です。残された人生を悔いのないよう大切に生きよう。

短歌

瀬戸好子

種子島に家族旅行で釣に行く 大漁の夢に胸ふくらましつつ

目の前にロケットの模型が天を突く 海の青さを背景にして

釣船はゆらりと岸を離れたり 酔ってはなるかと足をふんばる

男 4 人大物釣れずに船酔いし 早目に引き揚ぐ種子島のつり

病院からのお知らせ

- * インフルエンザワクチン接種は 12 月いっぱい終了です。まだの方はお早めに。予約は不要です。市町村からの問診票をお忘れなく。詳細は各科外来にお尋ねください。
- * 5 月から電子カルテシステムが稼働しております。電子カルテでは患者さんのデータを経時的グラフで表すこともとても簡単にできます。たとえば、この 1 年間のコレステロールの変化を見たい、などという時は主治医にご相談ください。その場でグラフ提示ができると思います。
- * 肺炎ワクチンの予防接種を行っております。ご希望の方は各科外来に申し出てください。予約制になっております。ただ、大震災の影響で一部品薄になっておりますので、しばらくお待ちいただくこともありそうです。
- * 亜急性期病床は 14 床分準備してあります。リハビリテーション中心で少し入院期間が長くなりそうな方向けの病室です。ぜひご利用ください。
- * 骨密度、測ってみられましたか？ご希望の方はいつでもできますので、各科窓口でおたずねください。適切な治療で骨粗しょう症の進行を予防できることがあります。骨密度を上げるお薬を服用している方は、骨密度が上昇したかどうか確認してみたいかがでしょうか。骨折予防は寝たきり予防につながります。
骨年齢：あなたの骨は〇〇歳です。という表示が出ます。
- * MRI で脳の検査をしてみませんか？目的は脳卒中や認知症（ボケ）の予防につながることもあるからです。また、脳動脈瘤（くも膜下出血の原因となる）の発見にも威力を発揮します。脳ドック以外でも脳神経外科または神経内科外来にてご相談ください。
無症候性の病変（症状はないけど梗塞がある）がみつかると予防の治療を開始した方もおられます。寝たきりや認知症にならないためにも一度は検査されることをお勧めいたします。
- * MRI は腰痛の検査にも威力を発揮します（脊柱管狭窄症、椎間板ヘルニアなど）。あるいは肩こりや手のしびれの原因を探すのにも有用です。精密検査希望の方は神経内科外来にてご相談下さい。
- * 新式のマンモグラフィーが導入されております。乳がん検査に威力を発揮いたします。近年乳がんが増加傾向です。乳がんが気になる方は外科外来へお申し出ください。
- * 肝臓病、糖尿病、脳神経外科、難病などの特殊外来は診察日が決まっておりますので、診察希望の方はあらかじめご確認ください。
- * 物忘れが気になるかたは神経内科外来にご相談ください。早期治療が進行を遅らせるこ

とができることもあります。

もの忘れ外来の開設も検討しております。来年春の予定です。

介護への道 パート4：最終章 カラーマン（とその女）

一人になった被介護人である母。最後の3 か月は寝たきりでボケたまま自宅で静かに旅立った肺癌の父が居た時に比べて、そのボケに磨きがかかってきた。あるいはボケの拡がりのみでなくボケの深さまでを垣間見せてきた。

長男夫婦、その孫たちと父のお墓参りに行ったことを、2 日後には忘れてしまう。（翌日くらいまではまだ覚えているってことね）

葬式、その後の50 日祭と遠方から帰省してきて会に出席してきた孫が3 回目に又帰省してきたとき、孫に会うやいなや、ああ、何年ぶりかしらねえ、元気にしたの、と真面目にいう。

一人暮らしはかろうじてやっている。もっとも怖いのは火の始末というが、ボケて火事を出したと言う話はあまり聞かないから、最低限のことはさせてあげようか、と提案したら周囲から、甘い！と響感をかった。暖房にエアコンを使おうとしない。石油ストーブの方が、暖かいし、やかんをかけるとお湯も沸くし、やかんから水蒸気も出るから部屋も乾燥しないし、という理由で以前から使っていた石油ストーブをいまだに使っていたので、せめてファンヒーターに替えてもらった。石油ストーブで大丈夫よ、心配しないでいいわよ、何年も使ってきたのだから、と云うボケ母を納得させるのは意外と大仕事であった。

そもそも石油ストーブを使用するための灯油を母は勝手に注文したのだが、そのことを覚えていないのである。今は注文した灯油がある間は、ファンヒーターを使用し、灯油がなくなったらもう注文しないように話し、（灯油の注文なんかはしっかりできたりするのね）その後はエアコンを使ってもらおうと思っている。何でもないことが、何でもないとはなくなる、のが認知症の世界である。

（まあ、でも身体の世界でも、元気な時は何でもない歩くという行為が半身まひになったりするととんでもない重労働になったりするのと同じじゃないかしらん）

朝方、遠方在住の弟から電話がある。「ああ、あたしは大丈夫よ。ちょっともの忘れしたりするけど、心配しないでいいわよ。うん、うん。心配してくれてありがとうね。大丈夫だからね。そうね、またね。」などと話している。弟は思う。なんだ、兄が云うほどぼけちゃいけないじゃないか。夕方、母は朝方弟と電話で話したことを覚えていない。電話があった

ことすら記憶にない。もちろん弟はそのことは知らない。電話での会話はしっかりしていた、と云うことだけが彼の印象に残る。

一人暮らしの危うさをかばうため、週に3回、デイサービスを利用し、残りの日はヘルパーさんに来てもらって夕食を作ってもらっている。

あたし明日からデイサービスに行くのはやめるわ。あそこに来ている人は年寄りばかりだし。ヘルパーさんもいらいなわ。一人で暮らすのが一番だわ、と云うのが最近の母の口癖である。とてもじゃないが、完全な一人暮らしは無理であり、かろうじてこれらの介護サービスで日常がなりたっている現実を維持するために、なだめ、すかし、時に知らない顔をして母の要望を聞き流している。本当とうその区別がつかなくなっている昨今であるが、彼女はデイサービスから帰宅した日は楽しそうであり、ヘルパーさんとも楽しそうにおしゃべりをしながら時間を過ごしている。(ように見える)

もの忘れのみでない。医学的にはBPSDというらしいが、認知症の周辺症状がまた何とも物悲しいのである。具体的には幻覚、妄想、徘徊、攻撃性などを認知症の周辺症状(中核症状は記憶障害だ)と云う。その一部がちらちらとみられたりする。

もの忘れの進行予防に少しは良いだろうと、一度断った新聞宅配を再度頼んだとき。別に新聞はなくても良いわよと云う母の目の前で、まあまあ、とりあえず頼んでみてしばらく様子見ようよと、新聞宅配所に電話をして翌日から配達してもらうことにした。翌日、母に電話をして新聞が届いたかどうかを確かめた。はい、来てましたわよお。ボケ防止に良いと思ってあたしが注文したのよ。新聞見ないと日付も分からなくなったりするしね。(やや妄想に近いのかしらね)

仏式でいう49日の替わりに、神道では50日祭という儀式をとりおこなう。49日も50日も一緒やないかと思うだろうが、その通りで大して変わりはない。こまかいことはあるにしても。お坊さんか神主さんかの違いとか、精進料理かそうじゃないかの違いくらいしかないように思った。ホントはもっとあるのだろうが、葬儀屋さんもどちらもやっているし、現実的には形骸化しているのではないだろうか。

(お坊さんと神主さんじゃあ大分ちがうような気もするけどなあ。実際にあまりかわらないということが、神仏習合ってことなのかしらね。)

その50日祭に関して業者の人と、打ち合わせをしているときに母が突然寄ってきて、何でもそうやってあなたたちで決めれば良いのよ。私の事をほったらかして!と強い剣幕で怒鳴りだした。我々も、業者さんもびっくりである。

10分前。あたし、もう何でもちゃんとできないから、色々なことはあなたたちに任せる

わ。願するわね。と云っていた母がである。(それって、攻撃性の一端なのね。)

日を経過するごとに、なにがしかのエピソードが増えていく気がして恐ろしい。寝たきりの介護の方が随分と気持ち的には楽である。母はまだ70歳代である。女性の平均寿命まで20年弱。ああ、どうなるのであろうか。20年もしたら自分も高齢者になっている。(生きていけばね)。

遥かなる介護の道。坂の上の雲には希望をみることができるが、認知の介護の道には絶望しか見えない。それでも、子供は親を選べない。やがて、その子供のことすら忘れてしまう時がきても親の介護への道は途切れないであろう。ドタバタで始まった介護への道もどうやら、それなりにでこぼこ道ではあるが、道筋だけは一本道であることがはっきりしてきた。病気としての認知症の厳しさ、残酷さに何度もすれ違いながらの介護の道である。

明るく、楽しい介護にしたいと切望しながらも、内心では暗く切ない介護になるであろうと覚悟しながら歩む介護へ道である。

(やっと、介護への道シリーズも終わりだわね。なんだか、私小説的ムードがあって、あたし的にはあまり好きじゃなかったから、これでほっとしたわ)

編集後記

みなさま、一年間お疲れ様でした。いろんな事があった一年でしたね。なんといっても地震、津波に続く原発事故が衝撃的でした。しかし、人間、もともとエゴでできているものらしく、被災者や避難者の苦しみや悲しみは時々あるマスコミの報道くらいでしか実感できなくなりつつあります。当然ですが、被災者の実態よりも自らの生活の方が大きな関心ごとになります。実際、東北の人よりも悲惨な人は世界中に山ほどいるから、そういう人々をいちいち気にしていたら日常生活が成り立たないわ、という意見もあるようです。

でも民族のエゴというか、やはり日本人が大変な目に合っているから、おなじ日本人として助けてあげたいというナショナリズムがいま必要だと思うのですが、いかがでしょうか。同じ人間として世界中の人間を助けたいと言うヒューマニズムはやや欺瞞に満ちてしまいそうです。まず、せめて、身近の日本人に共感するという狭いヒューマニズム(ナショナリズム)で勝負してみよう、などと思ったりする師走のひと時でした。来年も、みなさまの健康と無事をお祈りして今年最後の後記とさせていただきます。1年間のご愛読ありがとうございました。(KT)